

REPORT SHEET OF COIL EDUCATION

担当教員名	今井隆夫	所属 (学部 学科)	英米学科	
実施クォーター	Q 1			
授業名	南山	演習 I		
	相手大学・機関	Japanese food culture		
カテゴリ	アカデミック			
パートナー教員名	フーゲンブーム智子先生	所属	UMBC	
参加学生数	南山	19	相手大学・機 関	28
使用言語	英語			
使用ツール	Zoom LINE 電子メール			
交流内容	<p>全員での顔合わせ、内容説明の合同 ZOOM セッション 1 回を行った後、クォーターを通して週 1 度程度の学生同士のミーティングを行い、各グループで、5 分程度の日米の食文化に関するビデオを作成した。</p>			
評価方法	ビデオの内容をルーブリックに基づき評価			
コメント	<p>全般的に、学生は、海外の大学の学生との交流の機会が持て、前向きに取り組んでいるようである。3 年ゼミが、Q2 は開講されないカリキュラムとなっているいなければ、作品をゼミで見て、議論する機会が持てるのであるが、それができないのが残念である。</p>			